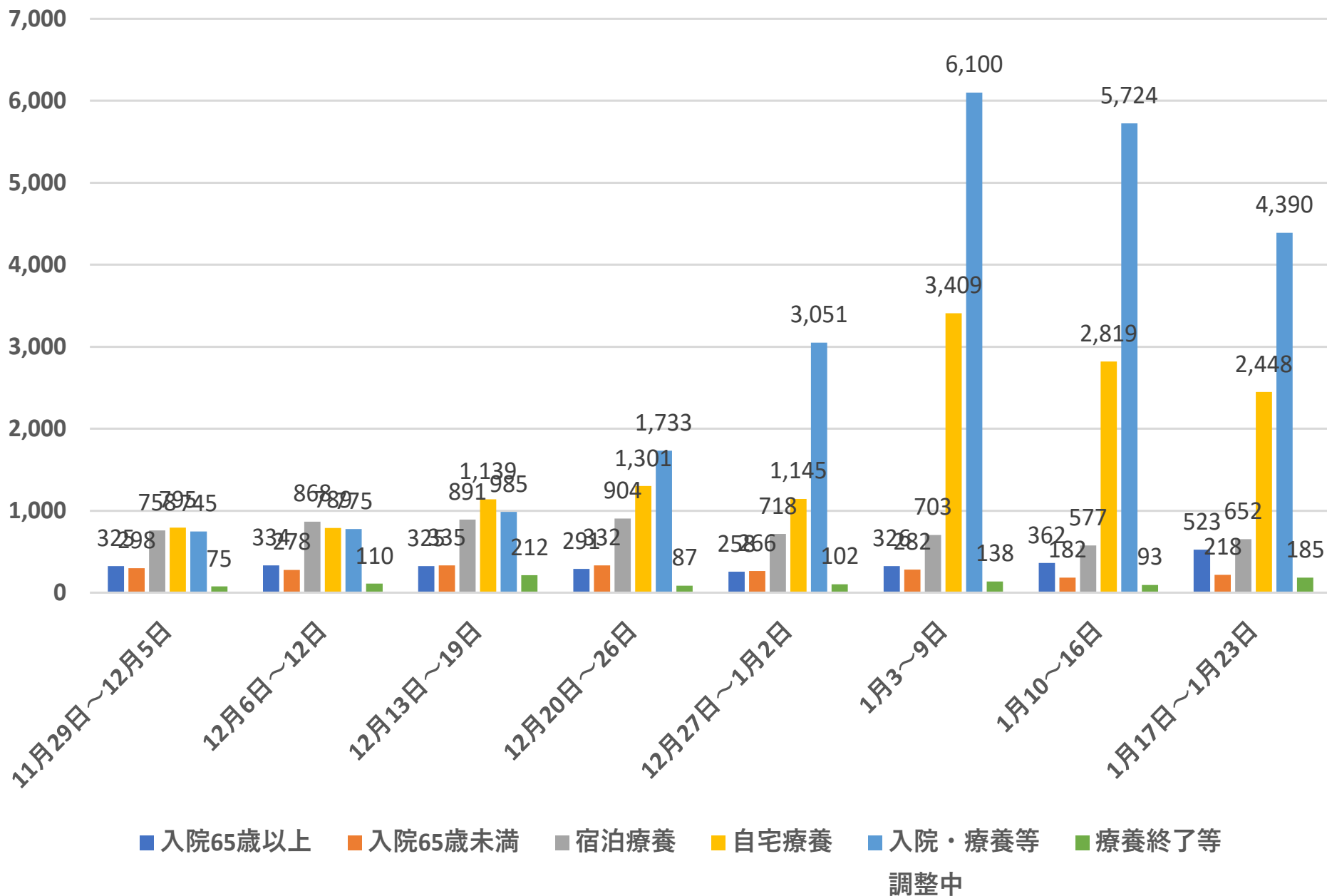
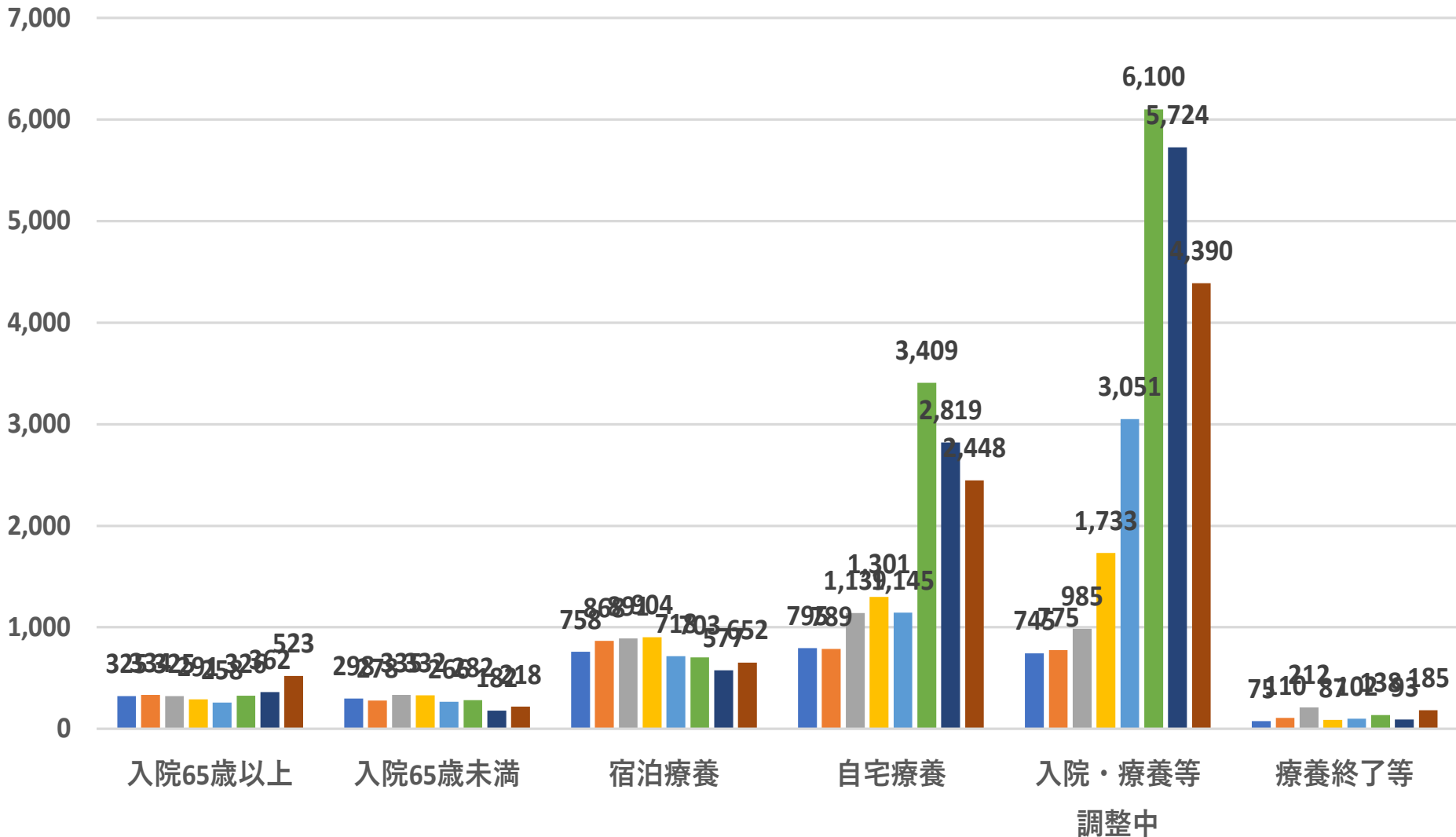


東京都内の陽性者の調整状況（11月29日～1月23日）週別

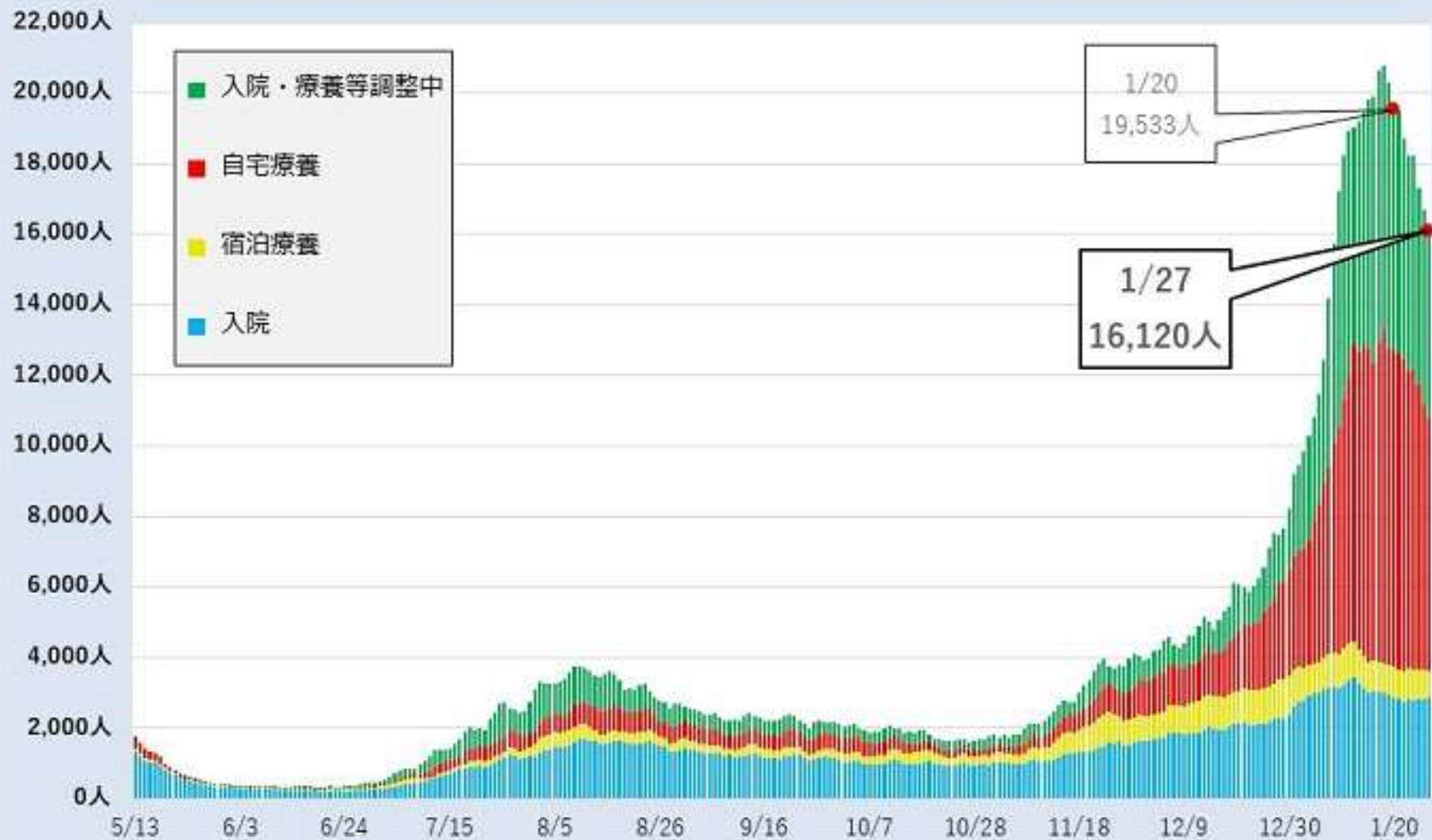


東京都内の陽性者の調整状況（11月29日～1月23日） 処遇別

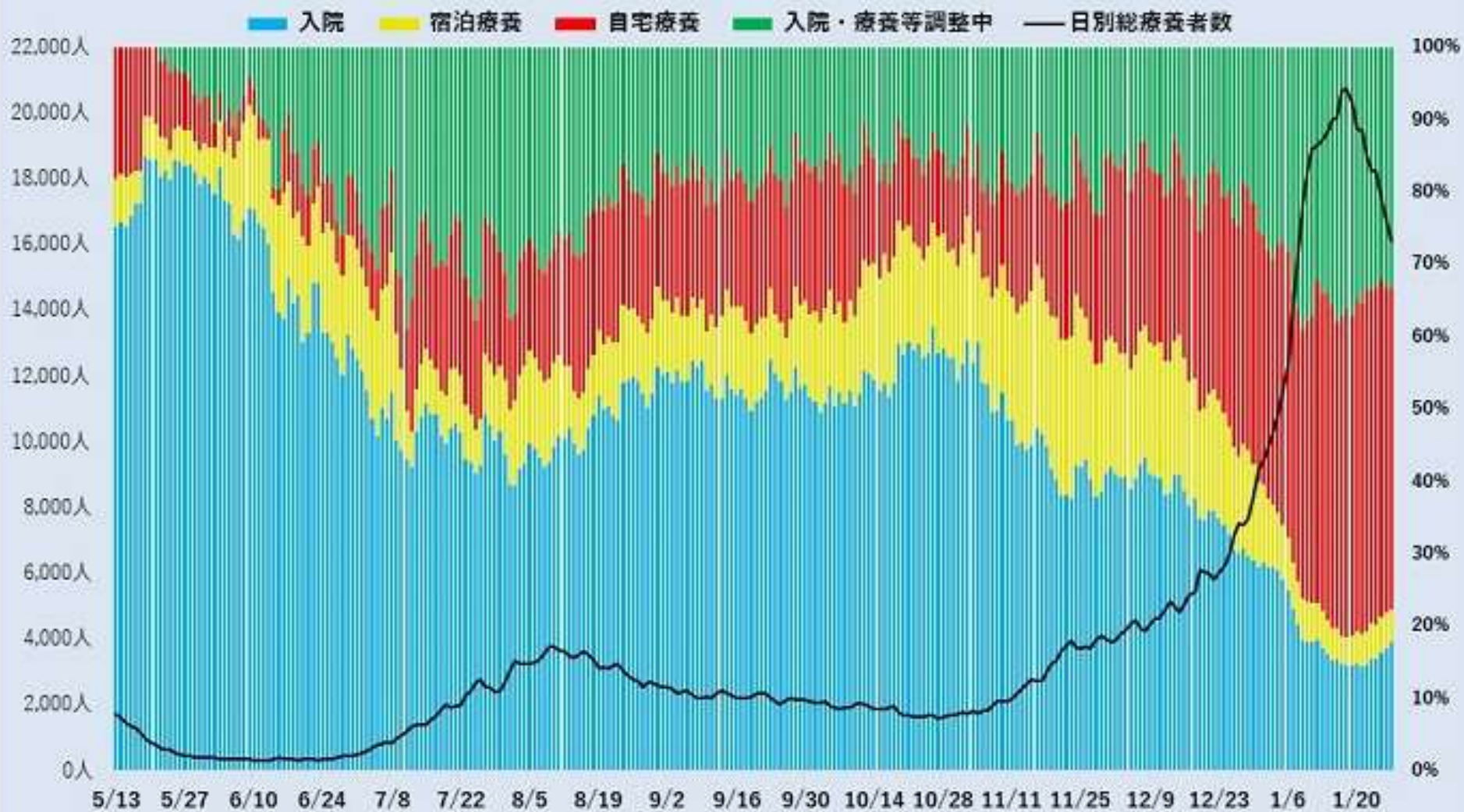


■ 11月29日～12月5日 ■ 12月6日～12日 ■ 12月13日～19日 ■ 12月20日～26日
■ 12月27日～1月2日 ■ 1月3～9日 ■ 1月10～16日 ■ 1月17日～1月23日

【医療提供体制】 ⑥-3 検査陽性者の療養状況（公表日の状況）



【医療提供体制】 ⑥-4 検査陽性者の療養状況別割合（公表日の状況）



在宅療養・入院調整中待機陽性者対応の課題

課題

医療

- 診断機関からの診療は届出で終了し、入院しなければ専門的治療を受けられない。結果として医療が中断する。
- 外来診療の受け入れ医療機関が少ない。
- 夜間休日の急変時は保健所医師がオンコールで電話対応するが迅速対応ができない。

宿泊療養

- 宿泊施設の医療体制は軽微。

宿泊療養基準：①高齢者②基礎疾患がある者③妊娠者等は入院対象であるとして除外

- 一方で、現状は病床ひっ迫により軽症だと入院できず、自宅療養となる。
- また、見守りが必要な単身者が家族への感染リスクなしとして対象外
- 結果として、宿泊療養施設に多くの「空床」が発生

対策

自宅療養中の医療の継続

- 診断機関による自宅療養陽性者の医療の継続
- 保健所の健康観察に加え、オンライン診療による医療的な健康観察の実施
- 訪問医療・訪問看護による病状確認

緊急時医療の体制整備

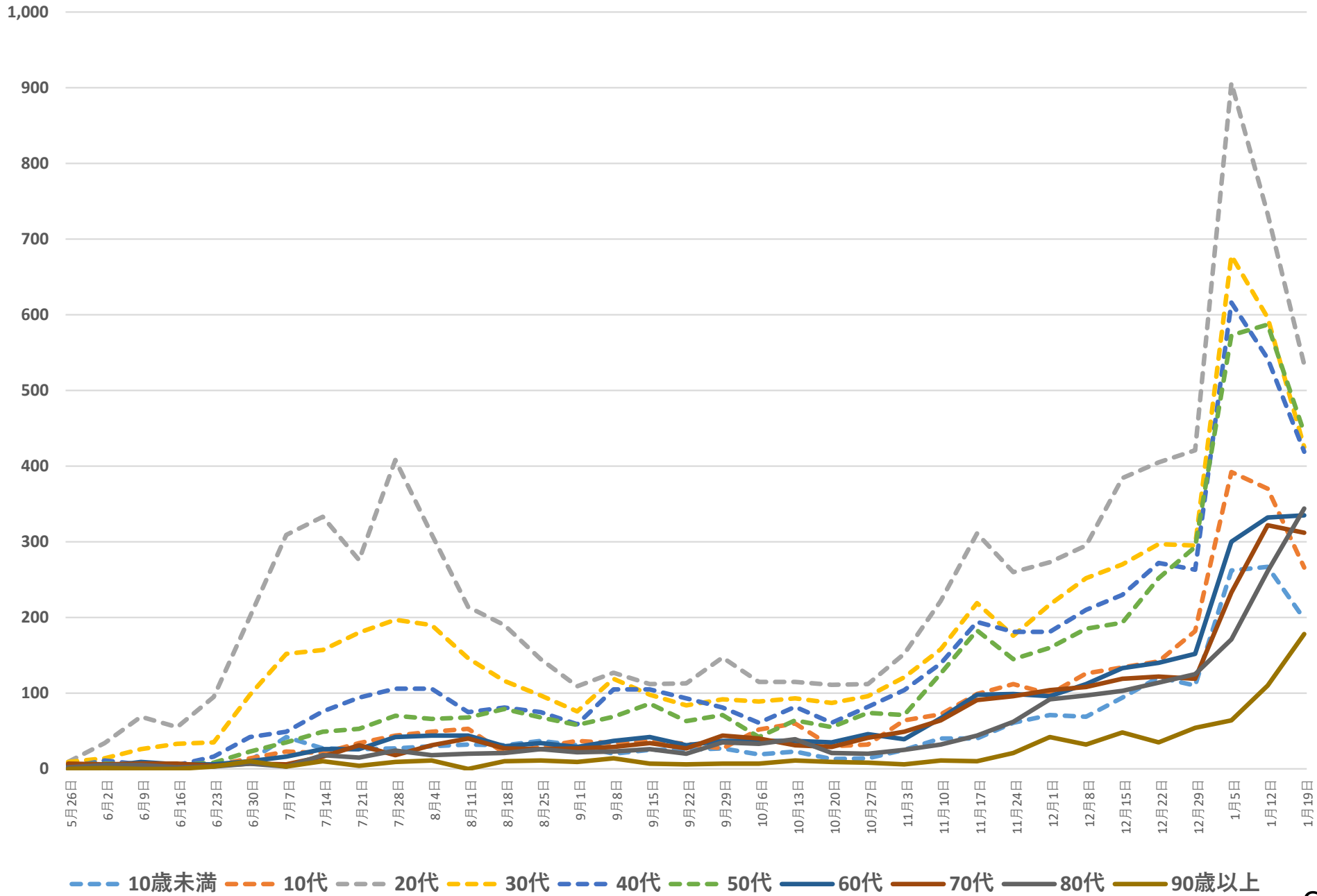
- 専門医療機関等での外来診療
- 夜間休日等の救急医による緊急時対応の強化
- 夜間等の急変患者緊急受入病床の確保

宿泊療養における医療の強化

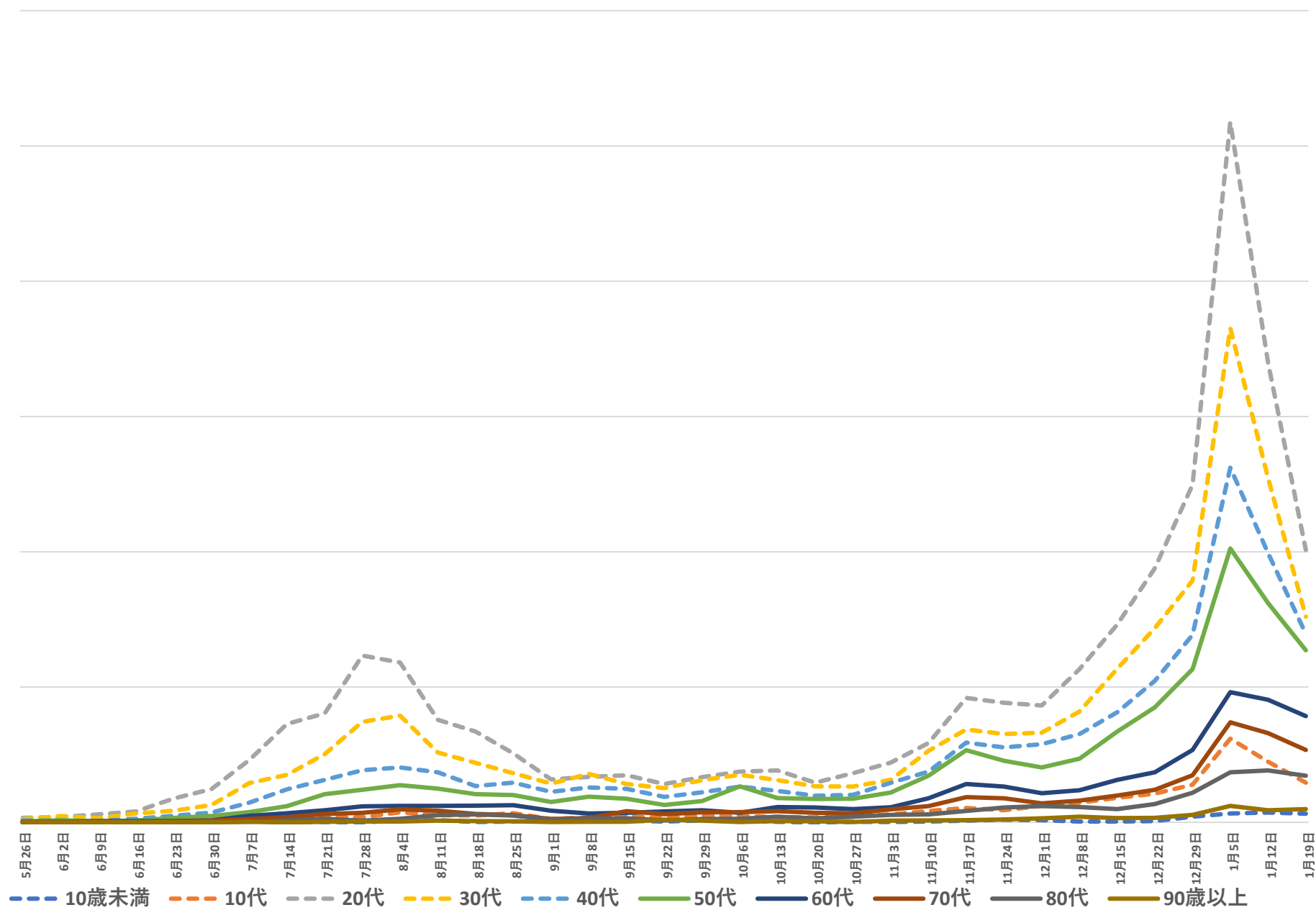
- 高齢者、基礎疾患患者への一定の医療の実施
- 症状急変時対応が可能な医療体制
- 専門医療機関との連携

法定化に先んじた体制強化が必要

東京都接触歴等判明陽性者（年代別）



東京都接触歴等不明陽性者（年代別）



東京都接触歴等不明陽性者（年代別）

